

『安元の大火』解釈するための 問題

授業の前には傍線注釈し、**調べた語を必ずノートの下段に記しておく**こと。それが無い場合、ノートチェック時には不合格になり、居残りノート作成をおこなうことになる。また、授業で進む予定の問を解答しておき、情報共有 time には解答の確認をして、全員正解を目指すこと。一人でもそれが出来ていないと全員正解は遠い。

《 》内は、傍線注釈時に挿入するヒントである。

①問一、「知れりしより」現代語訳

①問二、今作者は何歳ぐらい？

②問三、「ややたびたびになりぬ。」傍線注釈

③問四、「かとよ」現代語訳

③問五、安元の大火の時作者は何歳ぐらい？

④問六、「静かならざりし夜」傍線注釈

④問七、「東南」ってどうして「たつみ」って読むの？「西北」ってどうして「いぬゐ」って読むの？

⑤問八、「一夜のうちに塵灰となりにき。」傍線注釈

⑤問九、何が「塵灰とな」ったの？

⑥問十、「とかや」現代語訳

⑦問十一、傍線注釈

⑧問十二、「吹き迷ふ風に、とかく移りゆくほどに、」傍線注釈

⑧問十三、何が「移りゆく」？

⑧問十四、「扇を広げたるがごとく末広になりぬ。」傍線注釈

⑧問十五、何が「扇を広げたるがごとく」？

⑨問十六、「遠き家」何から遠い？「近きあたり」何から近い？

⑩問十七、「空には灰を吹きたてたれば、」傍線注釈

⑩問十八、何が「灰を吹きたて」た？

⑩問十九、「火の光に映じて、あまねく紅なる中に、」傍線注釈

▼…文法的説明（二単語以上だったら品詞分解）

◎…指示に従い答える

※何もついていないものはヒント

※「品詞分解」…単語に分け、それぞれの単語を文法的に説明すること。

① a) ▼ 「知れりし」

① d) 助詞は何個ある？

③ c) ▼ 「かとよ」

③ d) 係り結びの説明

④ e) 助詞は何個ある？

⑤ c) ▼ 「なりにき」

⑥ g) ▼ 「とかや」

⑥ g) 係り結びの説明

⑦ 「仮屋」…仮小屋

⑦ c) 係り結びの説明

⑧ c) 「ぬ」はどうして完了の助動詞？

⑩ d) 助詞は何個ある？

⑩ c) ▼ 「紅なる中に」

⑩問二十、何が「火の光に映じ」ているの？

⑪風《の勢い》に

⑪問二十一、傍線注釈

⑫問二十二、傍線注釈

⑭問二十三、「資財を取り出づるに及ばず。」傍線注釈

⑮問二十四、傍線注釈

⑯問二十五、現代語訳

⑰その《火事の》たび（時）

⑰問二十六、「公卿」って何？

⑱問二十七、傍線注釈

⑱問二十八、公卿の家とそのほか、どっちがたくさん焼けたの？それはどうして？

⑲問二十九、傍線注釈

⑳問三十、「馬・牛のたぐひ辺際を知らず。」傍線注釈

⑳問三十一、何が「辺際を知らず」？

・問三十二、「さしもあやふき京中の家を作るとて、」傍線注釈

・問三十三、「すぐれてあぢきなくぞ侍る。」傍線注釈

・問三十四、「あじきなく」と言っているが、なぜ？

問三十五、③と⑳において、次にあてはまる文番号を書く

（１）作者が直接見聞きしたことはどの文？

（２）人から伝え聞いたことはどの文？

⑪ㄱ助詞は何個ある？

⑪ㄴ「飛ぶがごとくして」

⑫ㄹ「あらんや」

⑬「あるいは」…ある人は

ㄷ「たちまちに死ぬ」

⑭ㄹ助詞は何個ある？

⑲ㄱ「及べりとぞ」

⑲ㄹ係り結びの説明

・ㄱ係り結びの説明